

## 緑に関する市民ワークショップ報告書 概要版

### ■ワークショップの開催概要

日 時：平成 28 年 9 月 3 日（土）13:00～17:00

会 場：武蔵野市役所西棟 8 階 811 会議室

目 的：緑化施策に関して直接的には活動を行っていない一般市民の『緑に関する意見』を把握し、緑の基本計画 2008 の改定に向けて立ち上げた緑化・環境市民委員会に意見を反映させることを目的に無作為抽出ワークショップを行う

対象者：平成 28 年 6 月 1 日現在、武蔵野市住民基本台帳に登録されている年齢 18 歳以上の市民から無作為抽出した 1,000 名

参加者数：22 名

テーマ：①将来へ緑を引き継ぐ活動 ②地域に愛される公園づくり

### ■当日の進行概要

①市の計画・施策・現状について説明

②5 グループに分かれ、課題や理想について共有、意見交換を行い、自分たちは何が出来るか議論

③各グループの発表・質疑・感想

### ■ワークショップで出された主な意見

①将来へ緑を引き継ぐ活動に向けてできること

| 課題認識   | 自分たちが出来ること   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・管理が大変</li><li>・市に頼っている</li><li>・良いことは広まりにくい</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・まず自分ひとりができることから始める</li><li>・地域の人たちで緑を守っていく</li><li>・有償ボランティアやポイント制を取り入れる</li><li>・ボランティアに興味を持ってもらう工夫をする</li><li>・ボランティア活動や地域を掃除する人に対して「ありがとう」と声かけをする</li><li>・地域の緑を守るためにボランティア活動を広げていく</li><li>・市民だけでなく、武蔵野市に来た人も含め全ての人に関係者となって緑の活動を進める</li><li>・コミセンの活動を通じて広げるなど広報等を工夫する</li></ul> |

## ②地域に愛される公園にするためにできること

| 課題認識   | 自分たちが出来ること  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の高さやうっそうとした草地管理が大変</li> <li>・ボランティアに入りにくい</li> <li>・公園に中々目が向かない</li> <li>・行政に頼るには限界がある</li> <li>・ルールとモラル</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に特色を持たせ、愛着ある公園にする</li> <li>・若い人も参加したくなるようなイベントを開催する</li> <li>・花壇づくりなど小さい取り組みでも自分たちができることを行う</li> <li>・公園や緑ボランティアに関する情報発信をする</li> <li>・個人ボランティアでは限界があるため、企業単位（CSR）、町内会単位などでボランティアに参加を促す</li> <li>・イベントは、地域が主体となってテーマを絞り、ルールやマナーを学びながら日頃できないことも楽しむ</li> <li>・公園の利用のルールを広げるには利用者のモラルが問題となるため、意識改革が必要であり、意識をあげられるような取り組みやイベントを開催する</li> </ul> |

### ■参加者の感想

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、散歩、余暇など、生活の全ての面で、緑があることが大切だと感じた</li> <li>・将来、子供ができた時に、緑の大切さを伝えたい</li> <li>・公園をどうするというだけでなく、みんながどんな街にしたいのかを考えることが大切だ</li> <li>・関心を持った人をいかに引き出すかが重要で、今回のような会でもグループだけでなく関心を持った人が集まったのだからもっと他のグループと横のつながり、交流する機会を生かすべきだ</li> <li>・次回同様のワークショップがあったら、ぜひ参加したいと思う</li> </ul> |
|---|

### ■ワークショップでの取り組み写真

